

会長就任にあたって

上川剛史

6月27日に行われ、上川剛史が第41回総代会において、会長に選任されました。上川剛史は、退教協に加入してまだ9年。周りの役員のみならず、年上の方ばかりで、退教協「青年部」のつもりでいたのですが、役員若返りを意図した前会長の思いもあり、お引き受けすることにしました。今、その責任の重さと関連役職の多さを実感しています。お引き受けした以上、自分のこれまでの経験を活かしながら、自分のできる範囲で頑張ります。よろしくお願いいたします。

さて今、退教協の役員や会員の高齢化が進み活動に支障が出ています。さらにそれに追い打ちをかけたのが3年前から続く新型コロナウイルスの感染拡大です。会員相互の交流する場も減り、お互いの健康を確認することもままならないようになりました。一方、新規加入者は年々減ってきています。定年の延長や再任用制度の導入で、現職と退職者の境が曖昧になり、組合員で退職、即退教協加入の時代ではありませぬ。組織が縮小の一途をたどっているのも現実です。しかし、戦争や気候変動による災害の多発、憲法改悪など我々高齢者もじっとしていられない状況が続いています。退職してないおかげで、運動を支え、学習と交流を深め、教組より上げた生きようとして先人たちが築き上げた退教協の運動を継続・発展させたいと思います。

せるために、会員一同総力を挙げての組織の強化・拡大が最重要課題です。できることから少しずつ動こうではありませぬか。

副会長就任にあたって

本多 稔

私は、6月27日開催の第41回総代会において、副会長に選任されました。本多稔です。3月までは小学校教諭として現場で教鞭を執っていました。今回、完全に現場を離れるにあたり、新会長に選任された上川さんからお誘いを受け、この任に就くことになりました。

私はこれまで、長崎総支部青年部常任委員から始まり、西彼総支部青年部長、長崎地区労副議長、連合長崎地協幹事、長西総支部総支部長などの役職を歴任してまいりました。今後さらに「教え子を再び戦場に送るな!」のスローガンのもと、護憲、一いのち・くらし」を大切しながら現退一致で民主主義を護り、拡大していく活動を行ってまいります。

九ブ〇長崎集会

3年前、大分県での集会開催はコロナで中止となりました。次の年福岡県の開催も、さらには佐賀県でもコロナは収まらず開催できませぬ。依然としてコロナが回って波々心配はありましたが、私たちが10年ぶりの対面での開催(3月9日)は



第32回研修会・第45回(11月19日)の開催。熊本県3と高4、鹿児島3と高2、沖縄県3と高3、宮崎県3と高1、大分県5と高3)の退教協会長、開催担当役員・運営委員13人、来賓3人の参加で、開会行事と記念講演を始めました。講演は西岡由香さんによる長崎大学平和の漫画。パワーポイント

1日目3月9日。会場は、申し込み時点ではなかったエレベーターの改修工事中でしたので、4階まで階段を上ることになりました。各単会42人(福岡県退教協4と高退教3、佐賀県5、熊本県3と高4、鹿児島3と高2、沖縄県3と高3、宮崎県3と高1、大分県5と高3)の退教協会長、開催担当役員・運営委員13人、来賓3人の参加で、開会行事と記念講演を始めました。講演は西岡由香さんによる長崎大学平和の漫画。パワーポイント



長崎県らし
い演出として、
1日目の記念
講演と2日目
終了後の原爆
遺構巡りがあ

ントを駆使し彼女の絵の力で、長崎原爆の継承を訴えました。全体会の後は、1つの分科会(組織)と2つの分散会(平和活動、生き方など)に分かれ、レポートを発表し意見交換する第32回研修会。各県から1ずつ出されたレポートです。『福退教組織拡大アンケートから』組織実態と課題(福岡県)、『文集活動をを通して会員をつなぐ』(佐賀県)、『ダウン症の長男と生きた55年』(長崎県)、『青木英夫』、『高退教活動って、何?』(熊本高)、『軍事基地化する鹿児島県』、『国会請願署名、自衛隊の弾薬庫建設反対取り組み』(沖縄県)、『戦後は終わらない』のり子八歳(宮崎県)、『反戦・平和を訴える平和劇(朗読劇)を子どもたちに』(大分県)。研修会を終了し、稲佐山観光ホテルで交流会をしました。各県からの参加者全員と運営スタッフ、来賓が参加できる広さがあり、そして夜景が素晴らしい会場でした。

2日目は研修会報告会と第45回定期総会でした。定期総会では、前半に日退教会長からの中央情勢報告があり、議案は提案通り承認されました。長崎県らしい演出として、1日目の記念講演と2日目終了後の原爆遺構巡りがあ

日退教第50回定期総会

新型コロナウイルスが5類へ移行される中、6月9日、日本教育会館で日退教第50回定期総会が開催され、八木会長の代行として西村事務局長が参加しました。今次総会は、通常の総会形式に戻り、代議員全員が九州プロックから熊本県退協の松田道雄代議員、北海道プロックから池浦博子代議員が選出されました。冒頭、日退教を代表して竹田邦明会長の挨拶があり、続いて人見退職者連合会長、徳茂方知子地公退副会長、梶原貴日教組中央執行副委員長、北村典子全国退職女性教職員の会長、岡島真砂樹教職員共済生協理事長、朽見識二日本教職員相互共済会理事長、みずおか俊一参議院議員、古賀千景参議院議員の来賓の皆さんの挨拶がありました。

りました。大分県2、福岡県1、鹿児島県2、日退教会長、スタッフ2名の参加で、八木道子さんのガイドにより平和祈念像を出版して城山小学校まで2時間巡り、原爆を深く学習しました。2日間を乗り切り、熊本県にパトンを渡すまで多くのエネルギーを費やしましたが、何とか無事終えることができました。役員・スタッフのみなさん、大変ご苦勞様でした。

・監査報告承認、「2023年度予算(案)」が松淵事務局次長から提案され、いづれも承認されました。活動方針では活発な質疑・討論がなされました。主なものは次の通りで、多岐にわたり共感できる内容でした。

- ・安倍国葬訴訟・北海道の日米共同訓練「オリエンタルシールド」・後期高齢者医療窓口負担2割導入に対する日退教の取り組み
- ・50周年記念誌発行・組織活動交流集会の分科会の持ち方
- ・アイヌ復権、「沖繩を再び戦場にすするな実行委員会」
- ・石川さん再審の取り組みと夜間中学
- ・ジェンダー平等の取り組み
- ・女性差別撤廃条約の「選択議定書」の自治体の「意見書」の取り組み
- ・現退一致の組織拡大の取り組み
- ・朝鮮学校への支援の取り組み
- ・島根原発の取り組み
- ・G7の核抑止による核保有の正当化の問題点
- ・子どもの暴力行為の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵攻と平和憲法について
- ・国政選挙の取り組み

特に広島県からの「G7広島サミットでは、核廃絶ではなく核抑止に頼った」ということは地元広島が核を認めたと同じことだ」という訴えは、同じ被爆県の参加代議員として心に響きました。免許更新廃止後新たに導入された「新たな教員研修制度について」の補強修正の提案がありましたが、私たちも県教組と情報交換を必要に行い、現場への支援に取り組みました。

地区活動

五島退教 榎田重忠

毎月「九の日に座り込み」は福江と... 4年前までは8月6日に青方にて... 「原爆・戦争写真展」を開催して...

しました。何人かの級友を原爆で... 被爆者の平均年齢は85歳を越えま... した。被爆した方々がいなくなる日...

ヨカ活動

健康維持の取り組み

佐世保退教協 宮原宏昭

私達は、平和で民主的な世の中を... 取り戻すことをめざして行動してい... ます。今年も4月25日の定期総会...

班員に手渡して状況を確認するとい... うことになっていきます。今の段階は、... その班長になる会員すら少なくない...

- 2020年 コロナ禍でしたがここ4年間では... 俵浦中央↓砲台山観測所跡↓俵浦(6km)...

編集委員より 仲間と一緒に、いろいろなことを喋りながら歩くのは、楽しいです。アンチエーシングです。無料パスの利用は愉快です。ずっと続けてください

